

朝の目覚まし時計がクマゼミの鳴き声に置き換わった。夜更かしの人には早朝からつらい時期かも。

私が小学生の頃は、朝 10 時まで外出禁止との学校からのお達し。午前中に勉強せよとの配慮(?)だったのだろうが、するはずもなく、朝からテレビの「夏休み子ども劇場」で「妖怪人間ベム」や「メルモちゃん」などを毎年繰り返し見ていた。

その後白山公園に蝉取りに行くか、近所の溝でザリガニを採って遊んだ。捕まえた獲物は爆竹で破壊して楽しんだ。ザリガニが潰れた後の黄色い汁が、脳みそみたいで気持ち悪かったが、一粒で二度おいしい子どもの生き物だった。

息子たちには同じ遊びを伝授してやった。残酷だったかもしれぬが、大人になり昔の自然を懐かしみそれを子孫に残さねばならぬという気持ちが確かに今あるからだ。

冷房とテレビゲームより健康的と思うが。発電による地球温暖化は生物を絶滅させるから(言い訳がましいが…)

「書を捨てよ町に出よう」といった作家がいたが、私のモットーは「書を持って野に出よう」である。皆様、ぜひご自愛を！！

ハーブ内科皮フ科 理事長 竹内 秀俊

【診療所】 加齢に伴う『物忘れ』と『認知症』の違いとは？

思い出したいことがすぐに思い出せない場合の多くは、加齢に伴う『物忘れ』です。ヒントで思い出せたり、別の機会に思い出することがあります。

一方、体験したことそのものを忘れてしまったり、ヒントを出されても思い出せない場合は、『認知症』の可能性があります。物忘れを自覚していない場合には、特に注意が必要です。例えば、買い物で購入した物を思い出せないのは『物忘れ』ですが、買い物に行ったこと自体を忘れてしまうのが『認知症』です。

ハーブでは、グループ全体で認知症ケアに取り組んでいます。診療所では、名古屋フォレストクリニックの河野院長による認知症の治療法『コウノメソッド』を取り入れ、力を入れています。早めの対応が重要ですので、ご心配な方はご相談ください。

学習療法の効果や、ハーブでの取り組みをホームページで紹介しています。ぜひご覧ください。

ハーブ内科 検索

【運動療法デイサービス】

『心太』と書いて『ところてん』。日本語は難しいというか、風流ですね。先日のおやつ作りに天草から煮詰めてところてんを作り、各自について三杯酢や黒みつで召し上がって頂きました。

ところてんの由来は、奈良時代に天草のことを「ころぶと」と呼んでいたのので、「心太」という漢字があてられ、そこから作られた食べ物にも使われるようになり、「ころたい」→「ころてい」→「ころてん」→「ところてん」と転化したそうです。皆さんご存知でしたか？



そして割り箸一本で食べるというのも名古屋あたり限定の習慣だそうです。なぜか…？

一説には、一本で食べようとすると手首をよく使うことで血流が良くなって脳梗塞を防止するとありました。皆さんも、『心太』を食べて、この猛暑を乗り切ってくださいね。

【頭の体操コーナー】

ハーブデイサービス・グループホームでは、認知症予防・維持改善のため、くもんの学習療法を取り入れています。

阿久比生まれの女性お二人で頭の体操をされた時に聞かせて下さったお話です。

H様「いわし雲が出ると魚屋が鰯を売りに来おったんだよ」

M様「そうだった！三日月の日には豆腐屋が必ず来たのよね」

H様「そうそう、三日月の日には来たわ」

職員「なんですか？」

M様「おばあさんがお供えしてたのよ」

H様「うちもおばあさんがやってたわ」

なんでかは知らないけど、三日月の夜は必ず豆腐を井戸端にお供えしてたわ」と、こんな会話がありました

お二人ともご自分では三日月の夜、豆腐をお供えしたことはないそうです。

でも、なぜ豆腐をお供えしたかはご存じないそうです。阿久比の風習、習わしでしょうか…？なぜ三日月の夜に豆腐をお供えするのか意味をご存じの方、同じような記憶、体験のある方はお話お聞かせ下さい。

